

## 2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程： 工業専門課程

学科：

情報処理科3年制

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
58	モバイルアプリ開発	3	60	4	必修	実習	有
59	応用プログラミングⅠ	3	60	4	必修	実習	有
60	応用プログラミングⅡ	3	60	4	必修	実習	有
61	PythonⅡ	3	30	2	必修	実習	有
62	ローコード開発	3	30	2	必修	実習	有
63	データベース設計演習	3	30	2	必修	実習	有
64	CCNA基礎Ⅱ	3	60	4	必修	実習	無
65	LPIC/LinuC対策Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
66	LPIC/LinuC対策Ⅲ	3	30	2	必修	講義	有
67	Windowsサーバ構築	3	60	4	必修	実習	有
68	AI基礎	3	60	4	必修	講義	有
69	AWS演習	3	60	4	必修	実習	有
70	卒業制作Ⅰ	3	60	4	必修	実習	有
71	卒業制作ⅡⅢ	3	90	6	必修	実習	有
72	ITソリューション	3	30	2	必修	実習	有
73	国家試験対策Ⅱ	3	30	2	選択	講義	有
74	企業会計	3	30	2	必修	講義	有
75	体育実習Ⅲ	3	30	2	必修	実習	無

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	モバイルアプリ開発		高橋 義博	有	4単位 60時間	

## 【授業の到達目標及びテーマ】

これまで複数年に渡りプログラミング言語を学習してきた成果を活かし、アプリ開発を学習していく。  
初めてとなるプログラミング言語 Kotlinを学び、一歩ずつアプリ開発を行い、複数のアプリを制作していく。

## 【講義概要】

Kotlinの基礎を学んだ後に、小さなアプリ開発を行い、アプリを完成させる達成感を体験するように授業は進んでいく。教科書を使用するため、教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	Android Studioについて。Kotlinについて。
2	クリックアプリ作成、LinearLayoutの確認
3	イベントの確認
4	フラワーシミュレーター
5	フラワーシミュレーター
6	エモーショナル写真集
7	エモーショナル写真集
8	早口言葉の達人
9	早口言葉の達人
10	いつでもどこでも難読漢字
11	いつでもどこでも難読漢字
12	ぜったい挫折しない日記帳
13	ぜったい挫折しない日記帳
14	課題レポート
15	課題レポート

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

## 【教員紹介】

15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

## 【教科書・参考文献】

いきなりプログラミング Androidアプリ開発、Sara (著)、翔泳社

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	応用プログラミング I		清野 ひろし	有	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
pythonのGUIであるTkinterを使えるようになることが目標である。 与えられたプログラム概要から、GUI画面を自分で作れるようになることも目標のひとつである。																					
<b>【講義概要】</b>																					
例題の解説を受け、課題を作成することによって学習を進める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Tkinterの概要、キャンバスのグラフィック描画																				
2	ボタン、ラベル、入力ボックス																				
3	チェックボックス、ラジオボタン、スピンボックス																				
4	afterによって動きのあるプログラムを作る																				
5	作成したWidgetのプロパティ変更、Widgetから関数呼び出し																				
6	イベント処理、キーイベント、マウス（クリック）																				
7	マウス（ドラッグ）、imageの描画																				
8	Widgetの配置、place、grid																				
9	メニュー、メッセージボックス																				
10	まとめ問題 簡易インタプリタ																				
11	再帰プログラミング1 単純な再帰処理																				
12	再帰プログラミング2 応用																				
13	まとめ問題 カードゲーム1																				
14	まとめ問題 カードゲーム2																				
15	まとめ問題 動きのあるゲーム																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>85%</td> <td></td> <td>5%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	85%		5%	10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	85%		5%	10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
SEとして実務経験あり。授業では、主に言語関係（C、C++、java、C#、php、pythonなど）、linux、データベースなどを担当する																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
なし。必要な資料は紙、pdfなどで配布する																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	応用プログラミングⅡ		高橋 義博	有	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
Reactの基本概念（コンポーネント、Props、State、ライフサイクル）を理解し、単純なSPA（Single Page Application）を構築できる。React Hooks（useState、useEffectなど）を活用し、状態管理や副作用処理を実装できる。 ReactベースのオープンソースWebフレームワークであるNext.jsも学び、ウェブシステム開発の手法を学ぶ。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Reactのインストールから基本概念を理解しながら、演習中心の授業をおこなっていく。 演習課題を実施しながら、スキルの習得を高め、Next.jsへの学習につなげていく。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	環境構築、Reactについて、Node.jsのインストール、Reactのインストール																				
2	Node.jsを使ったJavaScriptの実行																				
3	Reactの基礎、変数、条件分岐、配列のループ、関数、コンポーネント、Props																				
4	Reactの基礎、マウスイベント、useState																				
5	イベント処理とリスト表示、条件分岐とコンポーネント設計																				
6	ミニアプリ制作																				
7	コンポーネント開発																				
8	Reactライブラリの活用																				
9	フックについて																				
10	TypeScriptの活用																				
11	Next.jsの活用																				
12	API通信																				
13	ミニアプリ制作																				
14	演習課題																				
15	演習課題																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td>30%</td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%	30%		20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%	30%		20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
改訂新版 これからはじめるReact実践入門																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Python II		高橋 義博	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
Pythonのデータ分析に必要なライブラリ（NumPy、Pandas、Matplotlibなど）を使えるようになる。CSVやExcelなどのデータを読み込み、加工、集計、可視化できるスキルを身につける。データ分析における課題（欠損値、外れ値、データ型変換など）を適切に処理できる。																					
<b>【講義概要】</b>																					
Pythonのデータ分析に必要なライブラリ（NumPy、Pandas、Matplotlibなど）の使い方を学び、演習問題を実施しながらスキルを習得していく。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	データ分析の全体像、環境構築、NumPyについて																				
2	NumPyによる数値データ処理																				
3	NumPyによる数値データ処理																				
4	NumPyによる数値データ処理																				
5	Pandas入門（データフレーム操作）																				
6	Pandasによるデータ加工																				
7	Pandasによるデータ加工																				
8	データの可視化（Matplotlib基礎）																				
9	データの可視化（Seaborn応用）																				
10	データのばらつきを数値で表す																				
11	ばらつきデータの比較																				
12	2種類のデータの関係性																				
13	アヤメデータの確認																				
14	演習課題																				
15	演習課題																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td>30%</td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%	30%		20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%	30%		20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
最短コースでわかるPythonプログラミングとデータ分析																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	ローコード開発		坂東 佑一	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年注目を集めているノーコード・ローコードとは何かを理解し、その代表的なツールを体験する</li> <li>・グループワークと発表会を通じ、コミュニケーションスキル及びプレゼンテーションスキルを向上する</li> </ul>							
<b>【講義概要】</b>							
<p>前半：Webサイト構築のためのローコードツールStudioを使い、個々人にてWebサイトを作成する。第5-6回にて発表会を行う。            後半：業務アプリ構築のためのローコードツールKintoneを使い、チーム単位でアプリ開発を行う。AIを駆使しながらプレゼン資料を作り、第11-12回にて発表会を行う。</p>							
回	授業計画及び学習の内容						
1	DX、ノーコード・ローコード開発とは、授業の進め方と評価方法、Studioの紹介						
2	Studioを使ったWebサイト構築（個人作業）						
3	Studioを使ったWebサイト構築（個人作業）						
4	Studioを使ったWebサイト構築（個人作業）						
5	作成したWebサイトの発表会（個人）						
6	作成したWebサイトの発表会（個人）						
7	Kintoneの紹介、簡単なアプリ作成練習（日報アプリ、一覧機能、Excelからのアプリ作成）						
8	アプリのアイデア出し、開発（チーム作業）						
9	アプリの開発、アプリを友人等に利用してもらいデータ収集（チーム作業）						
10	発表スライド作成（チーム作業）						
11	作成したアプリの発表会（チーム）						
12	作成したアプリの発表会（チーム）						
13	kintoneを使った事例動画の紹介、資格試験（ノーコードパスポート）の紹介						
14	総合演習						
15	総合演習						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（発表）	合計
	割合					100%	100%
	(補足)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること</li> <li>・Studioを使った個人発表40点 + Kintoneを使ったチーム発表60点(チーム点30点、個人貢献点30点)</li> </ul>					
<b>【教員紹介】</b>							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
無し							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	データベース設計演習		龔 恵美子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
関係データベースの設計手順を理解し、システムの機能要件をもとにデータベースの設計が行えるようになる。また、設計内容をER図とデータベース設計仕様書に過不足なく記載できることを目標とする。							
<b>【講義概要】</b>							
ヘアサロンの予約管理を題材に、講師が提示した機能要件に沿って、DBの概念設計、論理設計、物理設計を行う。設計結果はER図とデータベース設計仕様書に記載し、設計結果からDBを構築する(XAMPPを利用)。構築したDBが実際にヘアサロン予約管理として機能するかサンプルプログラム(PHP)を用いて確認し、DB設計の大切さをより深く理解する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ヘアサロン予約管理DB	概念設計 (トップダウン)					
2	ヘアサロン予約管理DB	概念設計 (ボトムアップ)					
3	ヘアサロン予約管理DB	概念設計 (ER図と多重度)					
4	ヘアサロン予約管理DB	論理設計 (正規化)					
5	ヘアサロン予約管理DB	物理設計 (テーブル設計書、DDL)					
6	ヘアサロン予約管理DB	DB構築 (MySQL)					
7	まとめ						
8	ヘアサロン予約管理DB	DB利用 (DML、サンプルプログラムによるDB利用)					
9	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 概念設計					
10	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 論理設計					
11	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 物理設計					
12	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 DB構築					
13	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 DB利用					
14	ヘアサロン予約管理DB	要件追加編 設計内容発表					
15	総まとめ						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える						
<b>【教員紹介】</b>							
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
スッキリわかるSQL入門(株式会社フレアリンク)							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	CCNA基礎 II		菊池 靖	無	4単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。							
<b>【講義概要】</b>							
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Iの復習						
2	スイッチとハブの動作の違い、MACアドレスとは、ARP						
3	スイッチの基本コマンド-ホスト名やパスワード、IP・GW設定など						
4	ポートセキュリティ						
5	STP						
6	ここまでの復習						
7	中間試験						
8	VLAN1						
9	VLAN2, VLAN間ルーティング						
10	ワイルドカードマスク、ACL1						
11	ACL2						
12	NAT						
13	DHCP						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ( )	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策Ⅱ		太田 和也	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
LPIC101取得を目標とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
LPIC101試験に合格するのに必要な知識について、優先度をつけて紹介する。また、Linuxのしくみなど理解が困難な内容について解説する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	絶対パス、相対パス、Linux内のディレクトリ構造についてのおさらい																				
2	主要なファイル操作・編集系コマンドの確認と紹介																				
3	パイプとリダイレクト																				
4	正規表現に関わるコマンド、viエディタの操作																				
5	アーカイブファイルと圧縮・展開																				
6	これまでの学習範囲に対応する問題演習																				
7	中間試験																				
8	ファイルのアクセス権、所有者・所有グループの設定管理																				
9	リンクとプロセスの管理																				
10	パーティションとファイルシステム、マウント																				
11	Linux起動の流れ																				
12	パッケージの管理																				
13	その他LPIC101で出題される事項の解説																				
14	これまでの学習範囲に対応する問題演習																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>40%</td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		40%			100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		40%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
翔泳社「LPICレベル1 version5.0対応」																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策Ⅲ		太田 和也	有	2単位 30時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
LPIC102取得を目標とする。																					
<b>【講義概要】</b>																					
LPIC102試験に合格するのに必要な知識について、優先度をつけて紹介する。また、Linuxのしくみなど理解が困難な内容について解説する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	授業の説明、シェル、bashの設定ファイル																				
2	シェルスクリプト																				
3	LinuxのGUI環境、アクセシビリティ																				
4	ユーザとグループの管理、cronの設定																				
5	atの設定、ローライゼーションの設定																				
6	これまでの学習範囲に対応する問題演習																				
7	中間試験																				
8	システムクロック、Syslog設定																				
9	ログの調査、メール配送・印刷の仕組み																				
10	ネットワークの基礎とネットワークまわりの設定																				
11	ネットワークのトラブルシューティングとDNS																				
12	ホストレベルのセキュリティ、ユーザに設定に関するセキュリティ																				
13	OpenSSH、GnuPGを使った暗号化																				
14	これまでの学習範囲に対応する問題演習																				
15	期末試験																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
翔泳社「LPICレベル1 version5.0対応」																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	実習	Windowsサーバ構築		稲垣 高宏	有	4単位 60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ウィンドウズサーバの基本的な機能を実習を中心に習得する。

## 【講義概要】

基本的な機能を理解しながら、機能別にサーバ構築が使えるようにする。  
中間と期末試験は行わない。実習中心とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Windowsサーバとクライアントのインストールと接続確認。
2	DNSのインストールと設定とテストを行う。
3	Active Directoryの説明とインストールし、クライアントからのログイン。
4	グループポリシーとクライアント管理。
5	ファイルとフォルダのアクセス権と共有。
6	DHCPの設定とテスト。
7	Webの仕組。IISのインストールと設定。
8	ftpのインストールと設定。
9	xampのインストールと、Apacheの設定してクライアントから接続。
10	CGIの理解。PHPによる接続。
11	mysqlの設定と、PHPから接続。
12	セキュリティの基本的な設定の確認。
13	まとめ
14	総合演習1
15	総合演習2

## 【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%			40%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

## 【教員紹介】

メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。  
20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。

## 【教科書・参考文献】

なし

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	AI基礎		仲 智弘	有	4単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
生成AIパスポート、G検定の合格。							
<b>【講義概要】</b>							
資格試験対策。関連事項の解説、問題演習。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	生成AIパスポート対策：1. AI の概容						
2	生成AIパスポート対策：2. 生成モデルの誕生と現在までの系譜						
3	生成AIパスポート対策：3. 現在の生成 AI の動向						
4	生成AIパスポート対策：4. インターネットリテラシーと権利関係						
5	生成AIパスポート対策：5. AI に関する基本理念・社会原則・指針と法律						
6	生成AIパスポート対策：6. テキスト生成 AI に関するプロンプト						
7	中間試験						
8	G検定対策：1. 人工知能とは、人工知能をめぐる動向						
9	G検定対策：2. 機械学習の概要						
10	G検定対策：3. ディープラーニングの概要						
11	G検定対策：4. ディープラーニングの技術要素						
12	G検定対策：5. ディープラーニングの応用例						
13	G検定対策：6. AI に必要な数理・統計知識						
14	G検定対策：7. AI の社会実装に向けて、AI に関する法律と契約、AI 理論・AI ガバナンス						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式テキスト第4版対応版 生成AIパスポート テキスト&amp;問題集</li> <li>・徹底攻略ディープラーニングG検定ジェネラリスト問題集 第3版</li> </ul>							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	AWS演習		松田 将典	有	4単位 60時間															
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>																					
クラウドコンピューティングで利用されるAWSについて、基礎から学び、自力で基礎的な環境が作れるようになる。																					
<b>【講義概要】</b>																					
世界で広く利用されているパブリッククラウドサービスやAWSについての基礎知識を学び、実際にAWSの環境にログインして操作しながら、知識や操作方法を習熟する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	システムの基本概念とクラウドの導入、AWSの基礎																				
2	前回の続き、コンピューティングサービスの基礎(EC2)																				
3	前回の続き、ネットワークサービスの基礎(VPC)																				
4	前回の続き																				
5	前回の続き、データベースサービスの基礎(RDS)																				
6	前回の続き																				
7	総合演習1(基本的な構築の復習)																				
8	総合演習1解説、ストレージサービスの基礎(EBS、S3)																				
9	前回の続き、セキュリティサービスの基礎(IAM他)																				
10	管理サービスの基礎(CloudWatch他)、コンピューティングサービスの応用(Lambda他)																				
11	ネットワークサービスの応用(ELB他)																				
12	総合演習2(Webシステムの構築)																				
13	総合演習2解説、ストレージサービスの応用(EFS他)、データベースサービスの応用(Aurora他)、他																				
14	まとめ1																				
15	まとめ2																				
<b>【成績評価方法】</b>																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他( )</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他( )	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
<b>【教員紹介】</b>																					
SIerにて、金融系システム基盤開発等に従事し、システムエンジニアとしての一連のシステム開発工程を経験。																					
<b>【教科書・参考文献】</b>																					
オリジナルテキスト																					

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	卒業制作 I		小泉真理子/高橋義博	有	4単位 60時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
チームでの制作を通して、プロジェクトに必要な知識を体験する。 展示会を開催（学園祭期間中）し、保護者や来場者に自身の作品に触れる機会を作る。							
<b>【講義概要】</b>							
複数人でチームを組み、問題解決をおこなうアプリ / ウェブシステムの開発をおこなう。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	企画検討						
2	企画検討、市場調査						
3	企画作業						
4	企画プレゼン						
5	デザイン・UI制作、データベース設計、機能実						
6	デザイン・UI制作、機能実装						
7	中間プレゼン（現状報告）						
8	デザイン・UI制作、機能実装						
9	デザイン・UI制作、機能実装						
10	デザイン・UI制作、機能実装						
11	中間プレゼン（現状報告）						
12	システムの動作テスト、利用者マニュアル作成						
13	最終発表						
14	展示会準備						
15	展示会						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	プレゼン	平常点	その他（ ）	合計
	割合	60%		40%			100%
	(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること						
<b>【教員紹介】</b>							
高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマーとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。 小泉：ITベンダでソリューション提案に従事。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	卒業制作ⅡⅢ		小泉真理子/高橋義博	有	6単位 90時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
チームでの制作を通して、プロジェクトに必要な知識を体験する。 展示会を開催し、保護者に自身の作品に触れる機会を作る。							
<b>【講義概要】</b>							
複数人でチームを組み、問題解決をおこなうアプリ / ウェブシステムの開発をおこなう。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	企画検討						
2	企画検討、市場調査						
3	企画作業						
4	企画プレゼン						
5	デザイン・UI制作、データベース設計、機能実						
6	デザイン・UI制作、機能実装						
7	中間プレゼン（現状報告）						
8	デザイン・UI制作、機能実装						
9	デザイン・UI制作、機能実装						
10	デザイン・UI制作、機能実装						
11	中間プレゼン（現状報告）						
12	システムの動作テスト、利用者マニュアル作成						
13	最終発表						
14	展示会準備						
15	展示会						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	プレゼン	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%		40%			100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
高橋：15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。 小泉：ITベンダでソリューション提案に従事。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	必修	ITソリューション		小泉 真理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
現実に起こりうる「要件定義を元に、その要件に合うシステムの設計、機器構成、提案を行う」ための手法について学習する。よりよい提案資料の作成方法についても考察を行う。							
<b>【講義概要】</b>							
原則としてグループで作業をする。 評価は出席、レポート、各回の発表、公開資料、他者の講評にて行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	ソリューションとは						
2	グループワーク						
3	グループワーク						
4	グループワーク						
5	リハーサル						
6	発表						
7	発表						
8	グループワーク						
9	グループワーク						
10	グループワーク						
11	リハーサル						
12	発表						
13	発表						
14	まとめ1						
15	まとめ2						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
IT戦略とマネジメント（インフォテックサーブ） 図解即戦力 PMBOK第7版の知識と手法がこれ1冊でしっかりわかる教科書（技術評論社）							

東京電子専門学校 情報処理科3年制

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門	選択	国家試験対策Ⅱ		小泉 真理子	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
応用情報技術者または情報処理安全確保支援士試験の科目A合格を目指す							
<b>【講義概要】</b>							
応用情報技術者または情報処理安全確保支援士試験の資格対策を行う。合格者は授業・定期試験を免除する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	科目A過去問演習						
2	科目A過去問演習						
3	科目A過去問演習						
4	科目A過去問演習						
5	科目A過去問演習						
6	科目A過去問演習						
7	中間試験						
8	科目A過去問演習						
9	科目A過去問演習						
10	科目A過去問演習						
11	科目A過去問演習						
12	科目A過去問演習						
13	科目A過去問演習						
14	科目A過去問演習						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%		50%			100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
<b>【教員紹介】</b>							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
応用情報技術者過去問題、情報処理安全確保支援士過去問題							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	企業会計		木村 和也	有	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
財務と会計は企業にとって非常に重要です。経営者が自社の経営判断を行ったり、第三者が企業の状況を分析するうえで必要となる知識を簿記や財務諸表の分析を通して学んでいきます。							
<b>【講義概要】</b>							
本コースでは、財務と会計に必要な専門知識である財務諸表から企業分析ができる能力を学んでいきます。会計や財務に関する正しい知識やスキルは、企業やビジネスにとって必要な概念であると同時に、これらを学ぶことはみなさんの人生にとっても有意義なものになるでしょう。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	オリエンテーション						
2	財務諸表とは						
3	貸借対照表①						
4	貸借対照表②						
5	貸借対照表③						
6	損益計算書①						
7	中間試験						
8	損益計算書②						
9	キャッシュ・フロー計算書①						
10	キャッシュ・フロー計算書②						
11	財務諸表分析①						
12	財務諸表分析②						
13	財務諸表分析③						
14	財務諸表分析（演習）						
15	期末試験						
<b>【成績評価方法】</b>							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	(補足) レポートや自習課題は必ず提出すること。						
<b>【教員紹介】</b>							
税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
ビジネス会計検定試験公式テキスト3級							

# 東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		3年 通年	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅲ		情報処理科3年制 担当教員	無	2単位 30時間	
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>							
<p>運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。                      ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。                      学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。                      心身の健全な育成を目指しています。</p>							
<b>【講義概要】</b>							
この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	春のハイキング						
2							
3							
4							
5	学園祭準備（1日目、2日目）						
6	学園祭（1日目）						
7							
8							
9	学園祭（2日目）、後片付け						
10							
11							
12	秋のハイキング						
13							
14							
15							
<b>【成績評価方法】</b>							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合				100%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
<b>【教員紹介】</b>							
-							
<b>【教科書・参考文献】</b>							
-							